

地域包括ケアに関する取組み

早良区

〇概況

令和7年3月末現在

【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】

早良区は南北に長く北部（商業・文教・交通の拠点）、中部（閑静な住宅地域）、南部（自然豊かな農業・住宅地域）が異なる特性をもつ。面積は7区の中で最も広く、人口は東区、南区、博多区に次いで4番目に多くなっている。

【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】

早良区の高齢化率は年々上昇しており、7区のうち城南区に次いで2番目に高い。高齢化率は、北部の西新校区では17%と低く、南部の曲淵校区では50%を超えるなど、地域ごとに大きな差がある。

【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】

- ・病院が13ヶ所（精神科病院1、地域包括ケア病棟を持つ病院5）
- ・社会資源、地域コミュニティともに地域の差が大きい。北部は、マンション棟集合住宅が多く住民同士の関係も希薄化しており、地域での見守り体制が取りにくい状況にある。南部は、医療機関や介護サービス事業所も少なく、交通不便地域も多い。そのため、自家用車の使用有無により受診や買い物等生活に大きな影響が出てくる。
- ・早良区南部や市営住宅、UR団地等の大規模団地が多い校区では、高齢者世帯が増え地域役員の高齢化や担い手不足が大きな課題である。

人口（人）

219,638

高齢者数（人）

55,648

高齢化率（%）

25.3

小学校区数

25

いきいきセンター
圏域数

9

〇地域包括ケアに関する現状と課題

- 地域活動や医療・介護の連携やネットワーク活動が再開され、実際に顔を合わせる機会が増えている。今後も、ICTなど新たな手法を取り入れながらも、対面での活動機会を確保し引き続き顔の見える関係づくりの構築を図っていく。
- 単身高齢者や認知症高齢者、身近な支援者不在など複合課題を抱える世帯への対応が増加している。早期から地域や医療介護の専門職など様々な関係者のより一層の連携強化が望まれる。
- 認知機能の低下など高齢者の些細な変化に気づいた時に、負担なく関係機関に伝えられる仕組みづくりが必要である。
- 在宅生活を継続するには、医療・介護サービスでは補えない部分の支援が必要である。その担い手を確保すると同時に、地域で見守る方々への支援を強化・充実させる必要がある。
- 成年後見制度は、恒久的なものから単発的・一時的なものに変わろうとしてつある。成年後見制度を補完し本人の意思決定を支援する仕組みづくりが必要である。

1. 令和7年度取組みの中で、特徴あるもの

取組内容

早良区における地域包括ケアシステム推進について

1 地域での取組を応援するメニュー：「認知症支援の推進」を強化

公民館での
地域包括ケア関連講座の実施

- ・地域包括ケアに関する5分野の講座を公民館や地域の専門家と共働して実施していきます。
- 【地域包括ケア関連講座 テーマ】
- 「介護」若い世代向け親子で考える介護の備え講座、知った介護保険
- 「住まい」高齢者の施設・住まいについて
- 「医療」在宅医療でできること、かかりつけ医ありますか？、お薬の話
- 「生活支援」消費者被害、孤立死について考える、マイエンディングノート、終活
- 「保健（予防）」オーラルフレイル予防講座、知ってる？フレイル、健康寿命と食生活
- その他、地域包括ケアに関する講座について開催支援します。
- ・地域包括ケアに関連する映画の上映を実施します。

強化・拡充

認知症支援の推進

- ・認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座、認知症ステップアップ講座、を通して、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」を増やします。
- ・認知症の早期発見、早期相談につながるためのリーフレットを配布し、啓発を行います。
- ・世界アルツハイマーデーに合わせて、区内の図書館などの施設で啓発を推進します。
- ・認知症の人へのコミュニケーション・ケア技法のひとつであるユマニチュード（R）の普及啓発、（DVDの貸出）等を行います。

オーラルフレイル予防を含む
フレイル予防の啓発強化

- ・健診を受けて病気を予防・早期発見することで、健康寿命の延伸を目指します。
- ・認知症予防や生活習慣病・フレイル予防等の健康講座、生き生き講座などを実施します。
- ・よかトレ実践ステーションや運動の自主グループなど、身近な場所での健康づくりや仲間づくりをお手伝いします。
- ・区歯科医師会等と共働して、お口から健康づくりに取り組む実践的な講座を行い、オーラルフレイルを予防します。

「高齢者地域支援事業」の実施

- ・校区や町内会単位で、支え合い助け合いの仕組みづくり等について話し合い（高齢者地域支援会議）、地域の実情に応じて、できることから実施していく取組みです。
- ・地域の活動団体が参加し、相互に連携することで、課題解決に向けた取組みが進めやすくなります。



認知症啓発資料



歯科医師による
オーラルフレイル予防の講座

2 オーラルフレイル予防事業：区歯科医師会、大学、歯科衛生士会等と連携して事業を推進する

3 事業所ネットワークの連携推進：地域と医療・介護の専門職をつないでいく

2. 令和6年度の取組状況

(1) 地域ケア会議の状況

①個別支援における成功事例、課題など（個別支援会議の傾向など）	
・認知症の方、キーパーソン不在、8050問題など複合的課題を抱える事例が多く、見守り体制の構築等支援者間で協議。 ・民生委員、住居管理者、区社会福祉協議会、区障がい者基幹相談支援センター、警察など必要に応じて様々な機関に出席を依頼し、課題解決に向けて連携を図っている。	
個別支援会議開催状況	・会議回数：延77回(うち介護予防型個別支援会議24事例)
②住民同士の助け合い・支えあい活動	
○高齢者地域支援事業	
飯倉中央校区の取組み	
毎年、自治会長、民生委員、見守りボランティアが集まり、見守りに関する情報共有を目的に校区社会福祉協議会主催で開催していたふれあいネットワーク交流会。今年はこちらに加えて、これからも住み慣れた地域でいきいきと暮らししていくための取組みについて話し合いました。地域で行われている活動をより多くの人に知ってもらう方法や、お互いの連携の大切さなどについて、様々な意見が出ました。支え合い助け合えるまちづくりに、これからも取り組んでいきます！	
飯原校区の取組み	
平成26年度にモデル校区として事業に取り組んでから約10年。最初に作成したプランの目標年である2025年を迎えることから、プランの改訂に取り組めました。地域で活躍している団体の意見を採り入れ、高齢者だけでなく、「みんながいきいきと暮らせるまち」を目指して、校区一丸となってこれからも取組みを進めます！	
	
	
高齢者地域支援会議開催状況	・会議開催校区（地区）数：10校区（地区）、延べ回数：18回 ・検討内容：高齢者の課題等について意見交換し、地域で高齢者を支えるための取組みを検討し、できることから実施する。
③在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み	
	
オールフレイル予防のためのリーフレット	
■オールフレイル予防事業 早良区歯科医師会、福岡歯科大学、福岡県歯科衛生士会と協力して介護予防講演会実施。 ■多職種連携研修会 ・第1回：多職種連携における問題点（グループワーク） ・第2回：睡眠をめぐる話題 ・第3回：在宅医療におけるACP ■医療機関・薬局・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを巡回	
圏域連携会議開催状況	・会議回数：7回（第2.3.4.5.7.8.9圏域） ・テーマ：民生委員・児童委員と圏域ケアマネの交流会、地域・介護・医療のネットワーク構築をテーマに開催
④区レベルの取組み（特徴ある取組み）	
■早良区版地域包括ケアシステムの推進 ・公民館を主体とした「地域包括ケア関連講座」（地域の専門職と連携して地域包括ケアの5分野に関する講座）の開催 ・認知症啓発映画『ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～』を公民館で上映。参加者へ早期相談へ繋がるよう認知症関連資料一式を配布 10回372名 ・歯科医師会、大学等と連携した「オールフレイル予防事業」：25校区中25校区で実施、オールフレイル予防委員会：6回、リーフレット作成など ■区地域包括ケア推進プロジェクト会議 2回 ・区レベルでの地域包括ケアを推進体制を構築するため、関係課8課で設置。各課における地域包括ケアに関する取組みの共有を行っている。（総務課、企画課、地域支援課、生涯学習推進課、保険年金課、福祉・介護保険課、健康課、地域保健福祉課）	
区地域包括ケア推進会議開催状況	・区地域包括ケア推進会議 1回 ・部会 ①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会1回 ③生活支援・介護予防部会1回

(2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	具体的内容
在宅地域リーダー会議	7回 在宅医療・介護連携の取組み支援に向けた協議（多職種連携研修や市民公開講座の企画）
多職種連携研修会	3回 多職種連携に関するテーマ等で開催。グループワークでは視点の違いを理解することができた。
在宅医療に関する市民公開講座	1回 睡眠をテーマに基調講演を開催 86名参加
①ケアマネ連絡会（ケアマネサワラ）	①2回
②訪問看護ステーション連絡会	②区単位の開催なし。
③医療ソーシャルワーカー交流会	③企画会2回、開催1回
④ライフサポートワーカー	④企画会2回、認知症本人ミーティング「こここね」1回開催
事業所ネットワークの活動	事業所ネットワーク4か所(さわらにねと、介活ネットさわら中央、さわらまんなかネット、さわら南よかとこネット) ・事業所ネットワーク交流会：1回 ・認知症サポーター養成講座や公民館講座等で地域との連携を深めている。また、買い物支援等地域と協働しながら社会資源を補う取組みを展開している。
弁護士と包括職員（社会福祉士）と勉強会	虐待や処遇困難の事例検討を行い、法律の視点から助言を受ける。